

## 令和6年度 情報科 「情報テクノロジー」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 文系・理系 3年A～G組 選択者
教科書	情報Ⅱ（実教出版）	副教材等	

## 1 学習の到達目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、情報社会を支える情報テクノロジーの活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 情報テクノロジーについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 情報テクノロジーの利用，開発及び管理などに関する課題を発見し，情報産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 情報テクノロジーの安全かつ効率的な利用，開発及び管理を目指して自ら学び，情報システムの構築，運用及び保守などに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

## 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料
前期	5	1章 ハードウェア	1章 ハードウェア	01 コンピュータの種類と構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習課題の完成度               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 情報の正確性</li> <li>(2) 表現の適切性</li> <li>(3) 課題に対する考察の深さ</li> </ul> </li> </ul>
	6			02 コンピュータの内部処理	
	7			03 周辺装置	
		評価	評価	04 標準化団体	
				前期中間試験(CBTアセスメント)	
	9	2章 ソフトウェア	2章 ソフトウェア	01 オペレーティングシステムの仕組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習課題の完成度               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 仕組みについて理解度</li> <li>(2) 開発手順について理解度</li> <li>(3) 開発の適切性</li> </ul> </li> </ul>

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料
後 期	10	2章 ソフトウェア	2章 ソフトウェア	01 オペレーティングシステムの仕組み 02 アプリケーションソフトウェア 03 情報コンテンツに関する技術	・実習課題の完成度 (1) 仕組みについて理解度 (2) 開発手順について理解度 (3) 開発の適切性
	11				
	12	3章 情報システム	3章 情報システム	01 情報システム 02 ネットワーク 03 データベース	・実習課題の完成度 (1) 適切なシステム活用 (2) 必要なデータ取得 (3) システム操作・制御の適切性 (4) 条件に合う設計・開発
	1	評価	評価	年度末試験 (CBTアセスメント、実技試験)  年度末レポート課題	

### 3 評価の観点

知識・技能	コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段やオペレーティングシステム、アプリケーションソフトウェア及び情報セキュリティなどに関わる知識を体系的・系統的に理解し関連する技術を身に付けていること。
思考・判断・表現	情報テクノロジーに関する課題を発見し、情報産業に携わる者として対象を分析し、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して課題を解決する力を身に付けていること。
学びに向かう態度	情報社会と情報テクノロジーの関わりに配慮し、情報テクノロジーの扱いについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組み、適切に活用する態度を身に付けていること。

### 4 評価の方法

定期考査のほか、授業内で実施するCBT形式のテスト等の成績、課題作品への取り組み状況及び内容の成績、実技試験の成績、また、学習活動への意欲・関心等を評価の観点に従い、総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

情報Ⅰや他教科で培ってきた知識・技能を元に、それらをより昇華させた形でのアウトプットが行えるように意識しながら学習に取り組んでください。自身の端末等の持ち込み・利用に制限はありませんが、管理は厳重に行ってください。授業内で得た知識・技能は日常生活で活かすことができる場面が多くなるようにしてあります。自身の生活の中で、学習を活かすことを意識してください。昨年度の教科書・副教材があると良いかと思います。またAIの活用は積極的に行ってください。利用する中で使い方を学習していきましょう。